



■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもりプレス編集部
 ■2023年4月20日発行号 ■TEL.03-6807-8287 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

Magic Shields

<https://www.magicshields.co.jp/products/>

転んでも安心な床『ころやわ』——転倒予防学会推奨品に認定

『歩行安定性』と『衝撃吸収性』の2つの性質に注目

Magic Shields(マジックシールドズ/静岡県浜松市)では、同社が開発・販売する、転倒骨折リスクを低減する新しい床『ころやわ』が、日本転倒予防学会推奨品として認定されたことを発表した。『日本転倒予防学会推奨品』は、一般に販売されている転倒予防に関わる商品のなかで、商品の特性、品質を考慮し日本転倒予防学会が考える基準をクリアしたものが登録されるというもの。

今回推奨品に認定された製品『ころやわ』は、従来の「転ばせない」アプローチとは異なり、「転んでもケガをしない——」というコンセプトで製品開発が行われたとのこと。転んだ時には凹んで衝撃を吸収するのに、「普段は歩ける床」というのが特徴。内部の「可変剛性構造体(メカニカル・メタマテリアル)」により、フローリングと同等の歩行安定性を保ちながら、車椅子移動や歩行器、杖をついての移動でも大きく凹まない。その一方で、転倒時にはヘルメット着用時と同程度まで衝撃を軽減する事が可能(G値

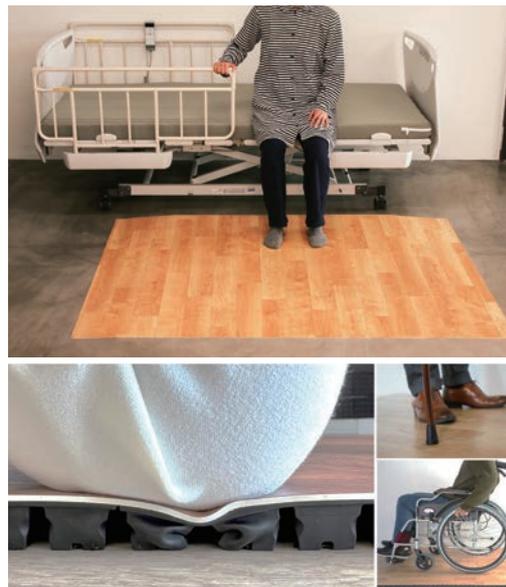
37: 試験方法はJIS A 6519「体育館用鋼製下地構成材」に準拠) だという。

従来、医療機関や福祉施設では、「転倒骨折ゼロ」を目指して各種センサーや転倒予測AI導入、職員の付き添いにより、患者様・ご利用様を「転ばせない」ことに力が注がれてきたが、近年では過度なセンサーの利用が拘束や職員の疲弊につながる可能性や、認知症患者数の増加による「職員の努力では防ぎきれない転倒」への対策に注目が集まり、いつでも・どこでも・誰でも簡単に使える「転んでもケガをしない」製品の開発が求められていたのだという。

そこで『ころやわ』は、医療機関・福祉施設のニーズに合わせて「ベッドサイドに置くだけで、いつでも・どこでも・誰でも簡単に転倒骨折のリスクを低減できる床」を目指し、杖や車いす等利用時や、医療・介護用ベッドの移動時に床が凹まず取り外し不要で、緩衝マットの「敷き忘れ」による事故を改善する製品として開発された

という経緯をもつ。

「これまで両方が困難とされていた『歩行安定性』と『衝撃吸収性』の2つの性質を併せ持つことと併せて、エビデンスを備えていること、また、既に日本国内『560施設以上』(2023年4月20日現在)で導入されていることが評価され、日本転倒予防学会推奨品に認定されました——(同社コメントより)」



シニアが元気になると
日本が元気になる！

元気シニア倶楽部
会員募集中!!

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com

「アクティブシニア」
増加中



高齢者向け「ChatGPT」搭載——ロボット見守りに挑戦

羽田空港で実験をした受付ロボット『cinnamon』に／ドーナツ ロボティクス + メタリアル

ロボットベンチャーのドーナツ ロボティクス（東京都港区）では、「人類を場所・時間・言語・物理的な制約から解放する」をミッションに掲げるメタリアル（東京都千代田区）との協業により、「ChatGPT」を高齢者向けにチューニングし、見守りロボットに搭載する事を発表した。羽田空港で実験を行なった受付ロボット『cinnamon』に高齢者向けChatGPTを搭載し「ロボットによる見守り」に挑戦する。『cinnamon』には赤外線センサーが搭載されており、電源が入っていれば、ロボット

の周辺を通るだけで、ロボットから高齢者に話かけていくという。

「これまでも会話AIは数多く存在しましたが、特定の場面では力を発揮するものの、会話が成り立たない事も多くありました——（両社）」

これに対して、これまでのAIとは学習方法の違うChatGPT会話AIは「人間にとって違和感のない会話が可能」とする。「ChatGPT」は、ユーザーの感情

を汲み取る能力も進化していますが、メタリアル社は、ここに更にチューニングを加え、高齢者への思いやりを持ったAI会話の実現を目指すとのこと。



<https://www.metareal.jp/>

『家電情報によるくらし見守りサポート+』の提供を開始

「まえばし暮らしテック推進事業」の一環として展開／ミライト・エックス+ エナジーゲートウェイ

ミライト・エックス（東京都江東区）と、エナジーゲートウェイ（東京都港区）の両社は、群馬県前橋市が推進する『まえばし暮らしテック推進事業（デ

ジタル田園都市国家構想推進交付金TYPE3採択事業）』の一環として『家電情報によるくらし見守りサポート+（プラス）』サービスの提供を開始した。

本サービスは家庭内に「電力センサー」を1つ設置するだけで、『家電毎の電力使用量の見える化を通じた見守り』を提供。日常的に使われていた家電が不使用になるなど、いつもと違う様子があれば家族にメールで通知が届くという見守りサービスで、「見守られ

る側」が特別なことをしなくても、見守る家族に生活の様子を伝えることができるというのが特徴。主要家電のうち最大10種類。例えば冷蔵庫、待機電力（常に電力消費する家電を含む）、エアコン、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、ヒーター・ドライヤー・ケトルなどの高熱家電、テレビ、IHクッキングヒーターなどが対象となる。さらに『自治体からの防災・防犯情報をプッシュ型で通知』するアプリサービスも提供される。

- ご家族があなたを見守る
- 前橋市の防災・防犯情報を通知
- 省エネもカンタン！



<https://www.mirait-x.co.jp/>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進
身近な**発明展**[®]
ヒント

特許料
3億円！

アイデア
募集中

特許料
6千万円！

発明家たちの
登竜門



企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

体温を下げるために最も効果的な後頭部に、特殊な高吸収繊維を組み込んだ冷える帽子『クールビット』シリーズを発明した小林豊博さん（株式会社日曜発明ギャラリー代表）。高吸収繊維が入ったフラップ部を水で濡らすと、水分が蒸発する際の気化熱で体温を下げる特許構造がポイントで、水を使って熱中症対策ができるグッズとして、暑さ対策で有名な地方自治体のすべての3歳児に配布する等、公式に採用された実績があります。

熱中症対策や防寒対策グッズ専門商品を取り扱う企業として、健康対策に取り組んでおりますが、帽子などの製品と並んで、もう一つの自慢の同社で売り出し中のサービスが、「熱中症や寒さ対策のためのアプリ」です。

WaHMA（ワーマ※ **Weather and Health Mobile Applications** の略）と命名されたこのアプリは、ライブ気象予報データを受信して、全国20都市の1週間の天気予報と、健康対策のための3日後までの熱中症警戒予測（冬は寒さ対策）のアラート情報をスマホに表示・提供する無料アプリです。

夏（4月20日から10月14日まで）は「熱中症対策アラート」を表示、冬（10月15日から4月

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第70回 SDGs 気候変動対応形健康対策アプリ

『WaHMA（ワーマ）』



無料アプリ
wahma.jp



説明動画

19日）は「寒さ対策アラート」を季節で自動切り替えて表示します。

このアプリの特徴は、表示画面の中の宣伝バナーを変更でき、「各種団体や学校、法人向けにカ

スタマイズが出来るように構成されている点。

また、熱中症対策に役立つだけでなく、有害紫外線対策、花粉、PM2.5等の大気汚染を含む気象変化に対応した健康対策への注意、警戒を促すアプリのシステムとしても国内特許が登録成立（特許登録第6793301号）しているほか、国際特許も現在申請中。今後、国内外の関連の健康対策商品メーカーとのライセンス協業を進める予定としている、今後の普及が楽しみな発明です。

（松野泰明）



無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ・入門」（希望者は下記まで）

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレン・モンジュ・林野均の「シニア`萬、遊記」第67回

見守るのはいったい誰？

高齢者を見守るのは、まずは配偶者・子供などの同居親族、次に別居の親族でしょうか。近年は色々な企業から家電製品などを介した見守りサービスが提供・販売されています。異常を感知した場合は本人に確認の連絡をいれ、連絡がつかない場合は親族に通報するというのが基本的サービスのようです。

ふるさと納税の返礼品とする自治体もあるようで、その市場規模は2020年には年間262億円ともいわれていますし、2030年には381億円になるのではないかと予想されています。

しかし、先日、ショッキングな報道がありました。親族などの引き取り手がいない死者の数が2018年4月から'21年10月までの間に10万5773件に上り、

身元がわからない遺骨は約6千柱だったそうです。このうち約半数にあたる5万5424件は遺留金がなく、行政が葬祭費などを負担したそうですが、逆に遺留金があっても預貯金だった場合は、本人が葬儀に使うように書き残していても金融機関に拒まれ、引き出すことができないケースもあったそうです。

2021年3月に厚労省、金融庁など関係省庁は手引きをつくり、「遺留金は死者の預貯金を現金化したものも含まれ、葬祭費に充当できる」と記載し金融機関にも周知したにもかかわらず、相続人が確定していない段階では引き出せない、ということで拒否されたようです。

こうなったら個人的に企業や各種団体と自身の死後の処理の契

約をすることも視野にいれなければなりませんが、事前に現金を契約先に預けて置くのも不安ですよね。果たしてきっちりと後片付けしてもらえるのか、自分では確認できませんからね……。そんな不安を抱えたままで成仏できない霊が増えそうです。



◎画像はイメージです。

Author / 林野 均 (はやしのひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310